

小生、幼いころからトンボ、チョウを捕ったり、川遊びに夢中になったりしました。観察する中でチョウの模様や柄の違いが分かり、捕っては放ち、又捕っては遊んだものです。さて、チョウとガの便宜的な違いを紹介します。

- ・ チョウは翅を閉じて止まるが、ガは開いてとまる。でも小生が見る限りでは夜、チョウも寝るときに翅を閉じているようです。
- ・ チョウは模様がどちらかと言うと派手である、ガは模様が単純で色は茶系が多い。
- ・ チョウの触覚は先端が棍棒状、ガは真っすぐや櫛状である
- ・ チョウは前翅と後翅をつなぐ翅棘がないが、ガにはある。
- ・ チョウはよく動くが、ガはじっとしている事が多い。
- ・ チョウは昼間行動するが、ガは夜行性が多い。よく外灯に群がっています。
- ・ ガはチョウに比べるとリンブンが大きい。
- ・ ガは冬でもみられます。
- ・ チョウに付いている粉(鱗粉)、また、これが綺麗です。小鳥の翅のように並んでいる。ルーペでもみられます。これは体の保温保持と水滴除け、また、柄は同種の識別や鳥からの捕食を防ぐものと考えられています。

このあいだの台風の時は、小さな体で何処にしがみついていたのかな～？もともと、日本以外では、チョウ、ガの区別はあまり気にしないようです。(N)

チョウの詳細

